

武蔵野市の子ども読書活動における課題

■ 「読書」という言葉のとらえ方

- ・「紙の本」を読むことを読書ととらえるか。
- ・電子書籍あるいはインターネット上の情報を読むなど、どこまでを読書ととらえるか。

■ 「よい読書環境」の整備

- ・子どもの発達段階に応じた適書を、どのように提供していけるか。
- ・読書時間を、どのように確保するのか。(特に10代において。)

■ 「家庭」「保護者」へのアプローチ

- ・図書館を利用しない方へどのようにアプローチしていくか。
- ・子ども施設(自由来所型施設、幼稚園、保育園など)利用者へのアプローチをどのようにしていくか。
- ・公共的施設を利用しない方に、どのようなアプローチ方法があるか。

■ 「読める力」に向けたアプローチの必要性

- ・小学生のときの「読み方」が、中学生の高い不読率の背景となっていないか。

■ 中学生の「不読率」の改善

- ・「場づくり」を、どのように進めていくか。
- ・10代の「読書」を、どのように位置づけていくのか。